

■活動開始年月：2017年 ■企業ボランティアの数(実数)：20名

### ■活動のきっかけや経緯：

株式会社リクルートマネジメントソリューションズ(以下、弊社)では、企業の経営人事課題の解決を、研修やアセスメント、コンサルティングといった手法を用いてお手伝いをさせていただいております。

2017年よりCSR活動を本格的に推進するにあたり、弊社らしいCSR活動を模索する情報収集の一環として、東京ボランティア・市民活動センター(TVAC)を訪問させていただきました。その訪問が契機となり、TVAC主催の『NPO&施設のためのビジネス基礎講座(ビジネス基礎講座)』の「プレゼンテーション講座」を企業ボランティアとして担当させていただくこととなりました。

【参考】NPO&施設のためのビジネス基礎講座

<https://www.tvac.or.jp/kigyo/case/npo/2020.html>

プレゼンテーション講座を企画するにあたり、「まずは、参加いただく団体のみなさんのことを知りたい」とTVACのご協力の下、4団体に直接訪問してヒアリングを行い、団体の置かれている環境や課題の理解を深めました。そして、団体のみなさんの活動への熱く溢れる思い、そして、その意義を、「相手に伝わるように再整理する」プレゼン講座として設計しました。さらに、計画的な組織運営のための講座をTVACにご提案し、実施させていただくこととなりました。

### ■ボランティア活動の内容：

#### (1)プレゼンテーション講座『相手に伝わる魅力的なプレゼンの仕方を学ぼう!』の実施

この『ビジネス基礎講座』は、市民活動団体や福祉施設が企業や社員と協働したり、より多くの理解者・支援者を増やすために基本的なビジネス・コミュニケーションを学ぶことを目的とし、全5回程度の講座で構成されています。そのうち、弊社では2017年度より、「プレゼンテーション講座」と「計画による組織運営講座」の2講座をボランティアで担当しています。

「プレゼンテーション講座」では、90分後に「自団体を3分で紹介できる」、「団体紹介に自信が持てる」状態を目指して、講座の中で実際に団体のプレゼンをしてみる、また、聞き手にまわってプレゼンの良い点やさらに素晴らしいプレゼンに向けたフィードバックを試みる、といったことを組み込んでいます。こうして、複数回のプレゼンを重ねることで、「前より話せる!」、「もうちょっとやってみたら、もっとできるかも!」という自信につながっているようです。



この講座の最大のポイントは「相手の立場に立ってみよう!」ということです。活動への熱く溢れる思いは、情報量が多すぎると、聞き手にとってわかりにくい場合があります。そこで、プレゼンの相手が企業CSR担当者だとすると、その担当者は、日頃、何のために、何を業務としているのか、どのような話に関心をもってくれるのかを考えることで、「伝える」だけではない、「伝わる」プレゼンテーションになることをお伝えしています。

#### (2)リーダー層向けの講座『計画に基づいた組織運営』の実施

次に、「計画による組織運営講座」では、計画策定のステップやポイントを団体のリーダー層に学んでいただきます。市民活動団体や福祉施設の活動の特徴の1つに、支援者との距離の近さがあるのではないのでしょうか。そのために、目の前にいる人に手を差し伸べるための活動が生み出され、結果的に「あれもこれも」の状態となり、持続的に組織を運営するための活動や将来に向けた活動の優先順位が下がってしまうことがあるようです。

そこで、団体のみなさんが拠所にされているビジョンやミッションを主軸に、改めて団体として取り組むべきこと、取り組まないことを検討いただくためのフレームを提供しています。また、「美しい計画」や「見栄えのよい計画」ではなく、「実行するための計画」を作るには、団体のスタッフのみなさんがビジョンやミッション、そのために何を優先的に行うかについて、積極的にコミュニケーションを取っていただくことをお伝えしています。受講後アンケートでは「さっそく計画を作って、スタッフと話をしてみたい」、「計画を作るところから、スタッフの意見を聞いてみたい」といった感想も寄せていただいております。

### (3)プレゼンテーションのブラッシュアップ『90分間プロボノ体験』

「学んだことを実践してみたいが、もう少し自信が欲しい」との受講者アンケートの声をもとに、2019年度から前述のプレゼン講座と次年度の「企業ボランティア・プロジェクト」選考会でのプレゼンの間に、弊社社員によるプレゼンテーションのブラッシュアップの場を提供させていただいております。

「企業ボランティア・プロジェクト」には、毎年3団体が選ばれ、企業ボランティアと一緒に理解者・支援者の拡大に取り組みます。活動助成金40万円が提供されるとともに、TVACが企業ボランティアとのマッチングをし、両者の協働をサポートしています。この選考会には、多くの企業関係者が審査員ボランティアとして参加します。

昨年度は、書類選考を通り、この選考会でプレゼンできる4団体に弊社に来ていただき、弊社の社員が3～4名ずつチームになり、「企業ボランティア・プロジェクト」の獲得を目指して、その団体の活動のアピールポイントや、発表スライドの順番の再整理等をお手伝いさせていただきました。このブラッシュアップの場は、弊社社員にとっても、「90分間プロボノ体験」となり、社会貢献の入口として支持されています。



#### ■活用されている企業のリソースや従業員のアイデア:

『ビジネス基礎講座』の2つの講座については、部長クラスが講師として関わるだけでなく、講座の設計にも関わり、社員ボランティアは本業の研修設計のノウハウ等を活用。講座当日の場所は、本社セミナールームを提供させていただいております。

また、プレゼンのブラッシュアップは、2018年度に「企業ボランティア・プロジェクト」に参加した弊社社員から、「プレゼンテーションのフィードバックに関わることは、フィードバックを文化とするリクルートらしい取り組みにもなるだろうし、市民活動をされているみなさんの活動意義を知る大変貴重な機会になるのではないか」といった提案がありました。TVACにご相談したところ、団体のみなさんにとっても、弊社社員にとっても、互いにWin-Winの関係で実施ができる機会として、実施させていただくことができました。

#### ■活動を通じて得られた成果:

4年間の『ビジネス基礎講座』の2講座には、延べ146団体、162名に受講していただきました。受講団体に、その活用状況についてヒアリングもさせていただきました。「計画による組織運営講座」で学んだフレームに基づいて団体の事業計画を設定し、さらに各部門の計画策定にも展開されているところや、団体の計画を改めてフレームに落とし込んだ結果、行政からの支援獲得にまず取り組むべきであると明確になったところもありました。みなさんの組織運営の基盤強化や自走にむけた力強い動き出しを改めて感じております。

また、2019年度に行いましたプレゼンのブラッシュアップにご参加いただいた団体のうち、2団体が、『企業ボランティア・プロジェクト』の機会を獲得され、いずれの団体も、企業各社とのコラボレーションにより、素晴らしい活動につながっています。